

# トップレベルの医学部が、 イプスイッチの WhatsUp Gold を使って ネットワーク監視を統合しました



## 位置づけ:

- 最高学府、医療研究

## 業種:

- 複数のネットワーク監視ツールを使っていたので、ネットワークやアプリケーションの障害時の対応に非常に手間取る。

## 選択したソリューション:

- WhatsUp Gold ネットワーク監視・管理ソフトウェア

## 優れている点:

- 複数の独立監視ツールの複雑さから抜け出し、単一ダッシュボードからの監視が可能
- ITスタッフはすべてのネットワーク監視タスクに簡単にアクセス可能
- レイヤ2と3のディスカバリとマッピングで使用中のネットワーク・スイッチの使用年数とモデルについての深い洞察
- 無線アクセスの改善、帯域幅過剰使用の検出とコントロール、不正デバイスの発見
- 時間外に障害が発生した場合の警告設定で安心感

ケンブリッジ大学医学部、世界の医学部トップスリーの1つ、は、その1540年の創立以来の伝統である患者中心の医療を堅持しています。コア・インフラストラクチャ管理者のステイブン・ホーンチ氏は、英国ケンブリッジのキャンパスだけでも2,500人以上のスタッフがネットワーク接続する、大規模な医学部ネットワーク全体にわたってユーザーがアプリケーションを使い続けられるようにする責任を負っています。

## 複数の監視ツールが頭痛の種に

最近までITチームは、中断が起きたときの対処などのためネットワークの全てのコンポーネントをチェックするのに複数の監視ツールを使っていました。その複雑さはネットワークをスムーズに稼働させ続ける妨げになっていました。ホーンチ氏は、「ネットワーク・インフラストラクチャ全体を単一ビューで監視する機能はありませんでした。ITチームの重要なスタッフが、多数の異なる監視ソリューションを、それらが稼働しているかどうかを確認するだけのために定期的にチェックしていました。」と述懐します。

「それぞれの監視ツールについて、どう機能するかはごく限られたグループしか知りませんでした。総合的に見て、複数の異なる監視ツールを運用するのは時間も労力もかかり過ぎました。警告アラートの受信が遅れ、新しい監視ツールをインストールして稼働させるのにも苦労しました。統合された監視ソリューションが必要でした。」

医学部のIT管理部門は、監視すべきコア・インフラストラクチャの明細を作成しました。電子メール、Active Directory、ウェブサイト、データベース、などですが、特に重要なのは拡張し続ける無線インフラストラクチャです。「無線サービスは数年前に開始したばかりですが、当時と比べると飛躍的に拡張しました。」ホーンチ氏は続けます。「モバイル・ユーザーが格段に増えています。電子メールサーバーへの接続は半分以上がモバイル装置からの接続になっています。」

## 拡張するITインフラストラクチャを監視するという大きな課題

医学部の監視対象は、ITネットワーク・コンポーネントの範囲を超え、環境監視まで拡張されました。グラント・マクグレガー、英国にあるイプスイッチのパートナー会社、の上級技術コンサルタントであるデイビッド・ベル氏によると、医学部では火事、洪水やサーバー・ルームへの不法侵入などを防止するために配備したセンサー機器なども監視することを視野に入れていました。「学部では、深刻な障害の場合はショートメッセージで、緊急度が低いものは電子メールで、時間外の警告アラームを受け取ることを希望していました。もっと重要なことは、医学部が多くのリモートサイトを組み込んでいたことに加えて、他学部ともリンクする計画を持っており、ネットワークのサイズが2倍以上に大規模化する可能性があったので、ソリューションは柔軟に拡大可能でなければなりませんでした。」

## WhatsUp Gold がインストールするのにも最も簡単

ベル氏は、30日間の試用期間がある異なるベンダーの3つの製品を提案しました。ホーンチ氏は、無料試用期間の最初の30分で、イプスイッチの WhatsUp Gold をサポートなしでインストールしテストを開始することができました。そして5日後には WhatsUp Gold が大規模ネットワークの監視に最適で、インストールするの



が最も簡単だと結論を下しました。さらに、同社ソフトウェアの最新バージョンにアクセスすることができるイプスイッチの年間サポート契約にも満足しています。

ホーンチ氏は、グラント・マクグレガーからのサポートを受けて、WhatsUp Gold プレミアム・エディションの300デバイス用最新版をインストールしました。すぐに重要なサーバーとストレージの監視を開始し、順次、重要なネットワーク・デバイス、ファイアウォール、スイッチなども監視するように進展させていきました。その後、ワイヤレス・アプリケーションとほとんど全てのネットワーク・スイッチも監視するようにし、サーバー・ルームの環境センサーを監視するようにしてからは煙や熱、洪水や不法侵入に備えて警告を出す準備も整いました。

ITチームは、手作業での監査ではなかなか獲得できない詳細レベルのレイヤ2と3の完全なネットワーク・マップを作成できるWhatsUp Goldの能力を高く評価しています。「WhatsUp Goldを使って作成したネットワークのマップから、使用中のネットワーク・スイッチの使用年数やモデルなどの有用な洞察を得ることもできました。」とホーンチ氏は報告します。

## 無線アクセスの改善

イプスイッチのWhatsUp Goldは、無線インフラストラクチャにオンライン情報へのアクセスができないデッド・スポットがあるとたちまち苦情を訴えてくる多数の学生、教職員やその他のユーザーをかかえる大規模ネットワークのニーズによく適合しています。WhatsUp Goldのデータを利用して、無線使用ルールに違反しているユーザーを発見したり、内部ネットワーク上の不正デバイスを検出したり、サービスを悪用しているユーザーを見つけたりすることができ、適正使用ポリシーが遵守されるようチェックできます。また、ワイヤレス・アプリケーションを提供するのにボトルネックとなっているポイントを明確にすることもできます。ネットワーク・セキュリティと帯域幅も詳細に監視することができるので、個人デバイスも監視されていることを周知して、医学部のBYODポリシーの遵守を奨励します。

## 時間外に発生する問題にも対処

ホーンチ氏は、時間外に問題が発生してもITチームにショートメッセージで警告を送信するよう設定できるWhatsUp Goldの機能を高く評価します。「これは私たちが利用したかった重要な機能でした。一元的に管理できる監視ソリューションに移行したので、すべての必要な警告を受信することができます。」

大学にイプスイッチ社のネットワーク監視システムを導入して良かった点について、ホーンチ氏は次のようにまとめます。「費用対効果比の高さ、使いやすさ、販売代理店からのサポートは特記するに値します。イプスイッチのWhatsUp Goldに移行したので、スタッフには1つのシステムを教えるだけですみます。すべての監視は理解し設定するのが簡単です。」

## イプスイッチについて

イプスイッチのIT管理ソフトウェアは、複雑化するIT環境を中断させることなく運用するという重責を担うIT部門に、業務トランザクション、アプリケーション、インフラストラクチャを高い安全性でコントロールするためのツールを提供します。高機能で柔軟性に富み、簡単に試行できる大変使いやすいソフトウェアです。クラウド、仮想環境、ネットワーク環境での途切れないパフォーマンスでIT部門を支援します。世界100カ国以上でネットワーク、アプリケーション、サーバーを監視するために、そしてシステム、パートナー会社、顧客との間のファイル転送のために、世界中の多くのお客様から信頼を得ています。マサチューセッツ州の本社のほか、米国各地、ヨーロッパ、アジア、中南米に拠点があります。詳しくはホームページ <https://jp.ipswitch.com/> をご覧ください。

「イプスイッチの WhatsUp Gold に移行したので、スタッフには1つのシステムを教えるだけですみます。すべての監視は理解し設定するのが簡単です。」

— スティーブン・ホーンチ氏  
コア・インフラストラクチャ管理者

無料試用版をお試ください: <https://jp.ipswitch.com/forms/free-trials/whatsup-gold>